

平成20年 1 月 29 日

安曇野市長 平 林 伊三郎 様

安曇野市水道事業運営審議会  
会 長 平 林 茂 壽

安曇野市水道事業運営審議会(答申)

安曇野市水道事業運営審議会は、平成19年11月6日付け19水庶Aア-6第5号で諮問のありました、豊科事業及び堀金事業における料金改定の適否と基本的な方向性について、委員会としての意見をまとめましたのでここに答申します。

はじめに

市民のライフラインの一つである水道水を安全かつ安定的に供給することは水道の使命であります。その実現のためには、計画的な施設整備や水源の確保等が不可欠であり、多額の投資も必要とされるところです。

一方、その投資を担保する収益、とりわけ給水収益については、景気の低迷や少子高齢化、節水型機器の普及等による水需要の低下によって伸びが見込めず、今後も大変厳しい経営が続くものと考えられます。

このような状況の中、本運営審議会は市長から「豊科事業及び堀金事業における料金改定の適否と基本的な方向性」について諮問を受け、その後、市内における水道施設の状況を確認するための現地視察も行いながら、慎重に審議を重ねてきました。

その結果、水道事業の経営健全化のためには、今回の料金改定はやむを得ないとの結論に達しましたので、下記により答申します。

## 記

### 1. 豊科事業の料金改定について

豊科事業については、合併以前において3年毎の料金見直しが続けられてきたことにより、近年においては健全な財政状況が続いているところです。

しかし、現在豊科で20%以上の使用水量を占めているエプソンイメージングデバイス株式会社において事業転換が行われることが現実となり、平成20年度以降の水道使用量が激減することが予想されることから、それによる影響力について審議しました。

その結果、現行料金のままでは平成21年度より赤字経営に陥ることが明白であり、その不足分を補うための料金改定はやむを得ない

ものと判断いたします。

なお、本審議会が望ましいと考える料金改定率は次の通りです。

- (1) 料金改定については平均改定率1.2%の引き上げとする。
- (2) 料金算定期間は平成20年度から平成22年度までの3年間とする。
- (3) 実施時期は平成20年11月徴収分からとする。

## 2. 掘金事業の料金改定について

掘金事業における水道料金については、合併以前である平成9年に消費税率が改正されたことに伴って料金改定が実施され、その後現在に至るまで料金改定は行われていません。

近年における経営状況の実績を見ると、毎年1千万円程度の利益が計上されているものの、大変厳しい財政状況が続いています。

さらには、下水道関連工事に伴う他会計からの繰入金で平成20年度で終了することにより、平成21年度からは赤字になるものと想定するところです。

よって豊科事業と同様に、その不足分を補うための料金改定はやむを得ないものと判断いたします。

なお、本審議会が望ましいと考える料金改定率は次の通りです。

- (1) 料金改定については平均改定率1.4%の引き上げとする。
- (2) 料金算定期間は平成20年度から平成22年度までの3年間とする。
- (3) 実施時期は平成20年11月徴収分からとする。

## 3. 付帯意見

昨年度の答申において、今後においてできるだけ早い時期に安曇野市としての料金統一化を図られたい旨要望してあるところですが、市長におかれましては実施年度を明確化するとともに、今後5年を目安に統一料金制度の構築に尽力されるよう要望いたします。

## 安曇野市水道事業運営審議会開催経過

第1回委員会 平成19年11月6日(火)

- ・ 諮問
- ・ 平成18年度安曇野市水道事業の決算状況について
- ・ 豊科事業の経営状況について
- ・ 堀金事業の経営状況について

第2回委員会 平成19年11月26日(月)

- ・ 豊科事業におけるエプソンの動向について
- ・ 豊科事業の料金改定について
- ・ 堀金事業の料金改定について

第3回委員会 平成19年12月5日(水)

- ・ 安曇野市内水道施設見学会

第4回委員会 平成20年1月9日(水)

- ・ 豊科事業の料金改定について

第5回委員会 平成20年1月23日(水)

- ・ 答申案について

答 申 平成20年1月29日(火)

安曇野市水道事業運営審議会名簿

会 長            平 林      茂 壽

副会長           加々美      圭 子

委 員            中 島      こず江

委 員            塚 田      明 弘

委 員            磯 野      康 子

委 員            松 村      淨

委 員            務 台      扶美子

委 員            矢ヶ崎      記 久

委 員            窪 田      朗 子

委 員            山 崎      正 博